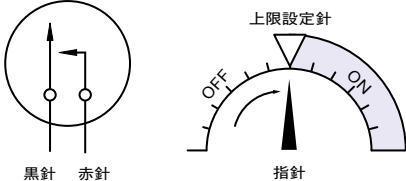
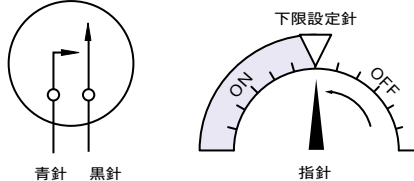
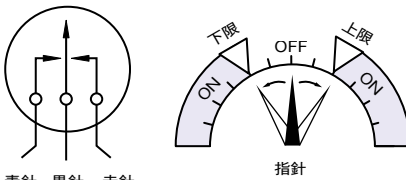
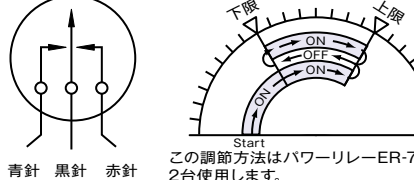
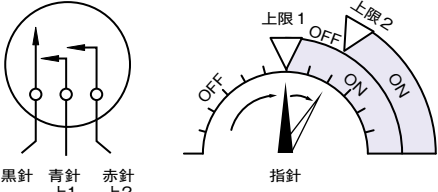
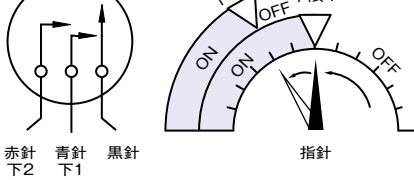


■コンタクト接点付機構・動作例

| | |
|---|---|
| <p>■上限1接点式 上昇してON</p>  | <p>■下限1接点式 下降してON</p>  |
| <p>■上・下2接点式 上昇又は下降してON</p>  | <p>■上・下2接点キーリレー式 (自己保持型)</p>  |
| <p>■上・上2接点式 上昇時2段階にてON</p>  | <p>■下・下2接点式 下降時2段階にてON</p>  |

■型式組合せ表

| ケース形状 | 標準立て型 75φ, 100φ, 150φ | AU | | |
|-------------------------|------------------------------|-----|----------|------|
| | 壁掛型 75φ, 100φ, 150φ | BU | | |
| | パネル埋込型 ビス止め式 75φ, 100φ | DU | | |
| | パネル埋込型 裏バンド式 75φ, 100φ, 150φ | DBU | | |
| | 屋外防滴型 100φ のみ | WA | | |
| 1 接点付 | | | E | |
| 2 接点付 | | | 2E | |
| 接続ネジ: 各種サイズをご指示ください。P.2 | | | (例) R3/8 | |
| ケース大きさ | | | | 75φ |
| | | | | 100φ |
| | | | | 150φ |

(注) 圧力、連成、真空範囲は P.5、微圧計は P.12 の表の中からお選びください。
接液部材質、接点種類は P.16 参照

■各種接点方式比較表

| | 特 徴 | 問 題 点 |
|--------------------|---|--|
| コンタクト接点 P.15~18 | <ul style="list-style-type: none"> ●接点入切精度が高い。 ●接点の点検、保守がしやすい。 ●無電圧スイッチ。 ●価格が安価。 | <ul style="list-style-type: none"> ●接点容量が小さい。 ●接点投入時にチャタリングが発生しやすい。 (専用補助リレー ER-7 型で対応) ●振動のある場所には不向き。 ●シーケンサー接続には不向き。 |
| マイクロ接点 P.19~22 | <ul style="list-style-type: none"> ●接点容量が大きい。 ●接点の耐久性が優れている。 ●多少の振動に強い。 ●無電圧 A・B 接点内蔵。 ●接点信号変換器と組合せて防爆対応になる。 | <ul style="list-style-type: none"> ●圧力範囲により接点に接断差がある。(FS 2~8%) P.20 参照 (但し接断差を利用して圧力調整ができます。) ●圧力設定はその都度ケースのフタを開けて行う。 |
| 光電スイッチ P.23~26 | <ul style="list-style-type: none"> ●非接触型接点のため、接点に誤作動が無い。 ●接点疲労が無いため、長寿命である。 ●多少の振動に強い。 ●シーケンサーに直結可能。 | <ul style="list-style-type: none"> ●操作電源が必要。 ●圧力設定はその都度ケースのフタを開けて行う。 |

■ターミナル BOX 内の端子台の外し方



- ①固定ビスを BOX から完全に抜き取ります。
- ②BOX 内の端子台の片角を、マイナスドライバーの先で掘り起こして取り出します。または固定ビス用の穴を強く押しでも端子台は抜けます。

●電線取り出し口は上・下・右・左の4方向に変える事ができます。